

令和7年4月18日

令和7年度富山・バーゼル交流促進事業  
「富山・バーゼル訪問交流プログラム」  
派遣学生への支援について

救急薬品工業株式会社（代表者名：稲田裕彦、以下「当社」という）は、令和7年度富山・バーゼル交流促進事業「富山・バーゼル訪問交流プログラム」における派遣学生への支援を決定しましたので、お知らせします。

「富山・バーゼル訪問交流プログラム」とは、富山県とスイス・バーゼル地域（バーゼル・シュタット州及びバーゼル・ラントシャフト州）との間の医薬品分野を中心とした交流に関する協定、富山大学とバーゼル大学（※）の交流協定及び富山県立大学とバーゼル大学の交流協定に基づき、今後の県内薬業界をリードするようなグローバル人材の育成を目的として、医薬品または医薬品関連分野で研究をしている富山大学又は富山県立大学の学生（3年生以上）・大学院生のバーゼル大学への派遣プログラムを実施するものです。

プログラム内容は、派遣者自らが、バーゼル大学の講義受講・実習参加・研究室訪問、スイス・バーゼル地域の製薬関連企業訪問等の中から希望するプログラムコンテンツを組み合わせ、バーゼル大学教官と調整のうえ参加する、というものです。派遣期間は令和7年11月1日～11月17日、派遣者数は2名を予定しています。

当社は、富山・バーゼル交流促進事業「富山・バーゼル訪問交流プログラム」における派遣学生への支援を通じて、今後も引き続き社会的責任を果たして参ります。

（※）スイス・バーゼル大学は、1460年創立（スイス最古）で医学・薬学・理学など7学部あり、ノーベル賞受賞者を少なくとも5名輩出しています。なお、バーゼル地域には、世界有数の製薬企業（ロシュ・ノバルティスなど）、医薬品や化学、バイオ関連企業、研究所が集積しています。

以上

